

いま、「核兵器なき世界」への歴史的転換点に立って

# 核兵器禁止条約の“力”と “非核の政府”を語る

12月9日(土) pm. 1:30  
~5:00

東京・御茶ノ水  
日本大学理工学部1号館131号室

【交通機関】JR中央・総武線「御茶ノ水駅」、地下鉄千代田線「新御茶ノ水駅」下車徒歩3分、地下鉄新宿線「小川町駅」下車徒歩7分



広島・長崎の被爆から72年を経てつい今年7月、国連の場で採択された核兵器禁止条約。戦後一貫して国内外で核兵器廃絶を訴え続けてきたわが国の被爆者と原水爆禁止運動の歴史的成果です。核兵器禁止条約の早期発効と一日も早い核兵器廃絶に向けて、いかにしてすべての国の政府に同条約署名を迫るか、とりわけ、核保有国とその同盟国の核兵器固執政策をいかに転換させるか、私たちはいま胸躍る歴史的挑戦のときを迎えているのではないのでしょうか。

シンポジウムでは、核兵器禁止条約採択にいたる戦後の非核・平和の流れの発展を跡づけながら、同条約にはどんな“威力”と“魅力”が込められているか、非核の日本、非核の政府の必要性、その実現の展望をどうみるか、などを探ります。

ぜひ、ご参加ください。

## パネリストとテーマ



**黒澤 満** (大阪女学院大学大学院教授)

核兵器禁止条約の意義と核兵器廃絶の展望



**高草木 博** (原水爆禁止日本協議会代表理事)

「核兵器なき世界」は何人も押し止められない人類的悲願



**森 一恵** (日本弁護士連合会・核廃絶PT所属・憲法問題対策本部委員)

核兵器禁止条約のすごい中身——日弁連はこうみる



**笠井 亮** (日本共産党衆議院議員)

“禁止条約に署名する非核の政府を”の声いまこそ

《特別発言》



**小澤 隆一** (東京慈恵会医科大学教授)

安倍流「北朝鮮の脅威・9条改憲」論を斬る



参加費 (資料代) 1000円 (学生500円)

問い合わせ先 非核の政府を求める会 〒113-0033 東京都文京区本郷2-13-13 本郷七番館202号  
Tel. 03・5844・6588 Fax. 03・3812・9686 E-mail: hikakunokai@pop21.odn.ne.jp